

柏署管内における犯罪発生状況（平成22年）

『犯罪抑止緊急対策推進中』

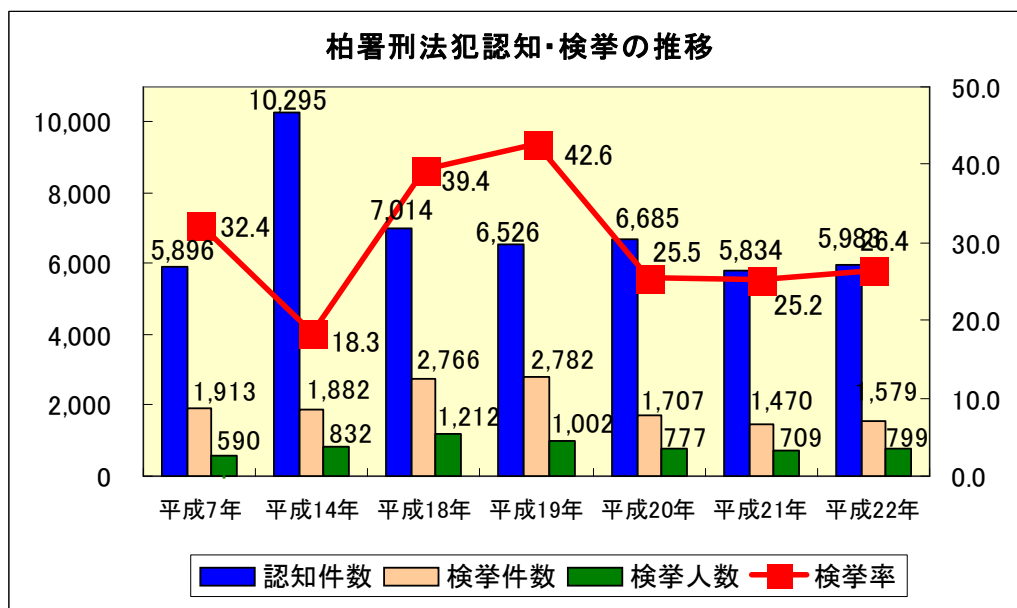
犯罪は他人ごとではありません！ 被害に遭わないためにも、一人ひとりがきちんとした防犯対策を行うことが必要です。

柏警察署では市内の治安指数として、年間の刑法犯認知件数目標を5,750件以内とし、今後も積極的に防犯活動を推進していきます。

12月末 5,983件 前年比 149件増

※数値は暫定値であり、修正される場合があります

1. 刑法犯の認知・検挙件数



柏署管内の刑法犯の認知状況をみると、県全体の動向と同様、平成14年をピークに減少傾向にあります。平成22年12月末の認知件数は5,983件で平成21年の同期と比較すると、149件の増加となっています。

検挙率については平成19年の42.6%から年々減少傾向にあります。

2. 街頭犯罪の認知件数

柏署では、特に発生件数の多い「路上強盗」、「自動車盗」、「オートバイ盗」、「自転車盗」、「車上ねらい」、「ひったくり」、「部品ねらい」、「自販機ねらい」を街頭犯罪8罪種として捉え犯罪の抑止に取り組んでいます。

平成22年12月末までの街頭犯罪8罪種の認知件数は2,826件で、平成21年の同期と比較すると8件の増加となっています。

罪種別に見ると「オートバイ盗」と「自転車盗」、「自販機ねらい」が減少している反面、「車上ねらい」、「自動車盗」、「ひったくり」の発生件数が大幅に増加しています。

	H22 12月	H21 12月	増減
路上強盗	7	8	▲ 1
自動車盗	263	126	137
オートバイ盗	272	308	▲ 36
自転車盗	1,099	1,394	▲ 295
車上ねらい	691	537	154
ひったくり	225	165	60
部品ねらい	197	194	3
自販機ねらい	72	86	▲ 14
計	2,826	2,818	8

3. 侵入犯罪の認知件数

柏署では、特に発生件数の多い「空き巣」、「忍込み」、「居空き」、「金庫破り」、「事務所荒し」、「出店荒し」を侵入犯罪6手口として捉え犯罪発生の抑止に取り組んでいます。

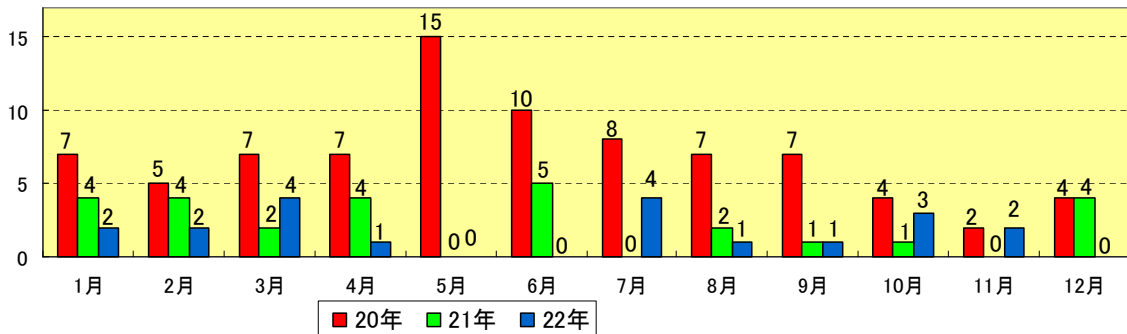
平成22年12月末までの侵入犯罪6手口の認知件数は692件で、平成21年の同期と比較すると45件の増加となっています。

特に「空き巣」の発生が増加しています。

	H22 12月	H21 12月	増減
空き巣	390	325	65
忍込み	89	57	32
居空き	19	22	▲3
金庫破り	19	17	2
事務所荒し	88	132	▲25
出店荒し	87	113	▲26
計	692	647	45

4. 振り込め詐欺

振り込め詐欺認知件数



12月末の発生件数は、20件で前年同月と比較すると4件減少となっています。しかし、被害総額は約4,700万円と、前年と比較すると約700万円の増加になりました。

なお、被害者の大半が女性であり50歳以上の方に被害が集中しています。

～警察署からのお願い～

警察署では、振り込め詐欺の犯人を検挙するため、犯人が使用している電話番号や口座番号などの情報の入手に努めています。

振り込め詐欺と思われる不審な電話がかかってきた場合は、直ぐに柏警察署(04-7148-0110)まで連絡をお願いします。

～主な電話手口～

●職場での不正補てん・ミスの穴埋め名目、治療費や感謝料に対する借金の返済名目、プレミアム会員への勧誘など。

～最近の特徴～

※ 事前に「携帯電話を変更した」又は「落とした」という名目で番号が変わったと嘘の電話をかけてきます。

※ 息子(孫)を名乗り、「会社の金を使い込んだ」等と騙す手口のオレオレ詐欺事件が増えています。

※ 学校の名簿や電話帳に女性名で掲載されている電話番号に順番に電話してきます。

※ 警察官や銀行員・銀行協会職員を装うものが被害者宅を訪れ、現金・キャッシュカードを直接受け取る手口もあります。